

みずのとうつうしん【子ども会議報告号】

5月13日(水)の午後2時30分から子ども会議を行いました。
今回の子ども会議のテーマは「かたきのルールを考えてみよう！」
会議には、21名の子ども達が参加してくれました。
はじめに「かたき」って何？から話し、次にかたきをするときの目標として

※かたきとは・・・布ボールを使って自分以外の人を当てる。自分を当てた人が当たったら復活する。これを繰り返し、最後の1人になったらチャンピオンという遊び。

①チャンピオンを目指そう！②楽しいかたきにしよう！の2つを伝えました。

目標を確認したうえでいざ本題のかたきのルールへ・・・

今のかたきは1回15人を基本に、ちょっと増えても1回でやったり2回にわけたりしていましたが、1回に参加できる人数は何人まで？と子ども達とやりとり。いろんな意見がでましたが、最終的に20人で決定。かたきを始めるときに20人を1人でも超えていたら2回に分けることにしました。そんな中、「19人でやっている後から2人来たらどうするの？」という質問が。「楽しいかたきにしよう」という目標だから、2人とも入れてあげればいいとTさんからの意見。いい意見だなあと思いつつも後から入ってくる人をみんなOKにしてしまうときりがなくなるので、20人を超えてしまったときはその日は入れないけど、別の日に参加してもらおうということに決めました。(かたきは行事などがなければ毎日実施しているので。)

また、①自分にボールが当たる→②そのまま壁に当たる→③床に落ちるまでにキャッチするのは職員的には「アウトじゃね？」と思うのですが、子ども達は満場一致で「セーフ！！」との答え。理由を聞くと、ふれあいの家の伝統だからだそうです。そんな伝統あったかなあ・・・

ほかに決まった内容は、以下の「かたきのルール」で紹介します！



～かたきのルール～

●かたき開始時間

⇒学校がある日は4時20分～、学校がない日は3時30分～、全学年4時間の日は3時30分～

●かたき開始5分前には、ホールの遊びを片づけ終わって静かに座っている状態にする

●かたきは10分×2回 あいだ1分休憩(水分補給) かたき時間残り3分前に当たった人全員復活

●かたき1回の参加人数は最大20人まで

⇒20人をこえたら2回にわけ

●ボールを投げるときは踏み出し1歩

●ボールに当たった人は白い線より後ろで静かに座る

●当たった人はボールが飛んできても触らない

●復活する人をねらわない

⇒復活する人はタイミングをみて復活する

●自分にボールが当たってから壁に当たったボールをキャッチはセーフ

●ボールを持った人が目の前にいても座らない

●かたき参加者はカタキが始まる前に事務室前のカゴに飲み物を入れる

⇒水分補給の時は、ホールから出て飲む

